

交通の歴史年表

1904年	横浜市電開業
1964年	JR根岸線石川町駅開業
1972年	横浜市電全線廃止 横浜市営地下鉄開業
1978年	首都高速道路 神奈川1号線
1990年	首都高速道路 石川町JCT
2004年	みなとみらい線開業



みなとみらい線

JR根岸線(現在) JR根岸線(旧車両)

交通の歴史

交通の歴史

石川町は戦後から比較的交通の便が良いことが知られていた。まず1904年から1972年に廃止されるまでは路面電車である横浜市電が運行していた。市電が主な交通手段であった時代から、元町商店街と石川商店街の間にある道路に市電の線路が通っていたため両者には隔たりがあったという。

1964年に開業したJR根岸線石川町駅は元町、中華街などの観光地の最寄り駅となつたが、その後2004年のみなとみらい線開業でその役割を失いつつある。現在、観光客はJR線、地元住民はみなとみらい線の利用が多いようだ。このみなとみらい線の開業は商店街の人通りをも、以前と比べ、徐々に減少させたようだ。石川商店街の通りはというと、昭和30年代前半は歩道がなく、車も両面通行であった。しかし車の交通は少なく、人の流れは多かったという。現在は歩道も作られ、車も一方通行になっている。1978年にできた首都高は中村川の上にかかり、景観を悪化させたと話す地元の方もいる。



歴史写真を募集しています

横浜石川町周辺の歴史がうかがえる古い写真をお貸しください。

- 募集期間／平成24年12月22日(土)～平成25年2月17日(日)
- 募集方法／別紙に、①住所 ②氏名 ③電話番号 ④年齢 ⑤撮影した場所と日付を明記の上、

- 1直接お持ちいただく場合:石川商店街「伊勢屋松山商店」まで
- 2郵送していただく場合:データ化したメディアを下記まで
住所／〒231-0868 横浜市中区石川町1-22

石川商店街協同組合 歴史写真展示係

※オリジナルの郵送はご遠慮ください。

- 3メールの場合:info@i-mall.or.jp まで
データ化した写真を添付(ファイル形式は「JPEG」「PDF」のいずれかの形式で1回の送信で、容量が2メガバイトを超えないようにしてください。)
※メッセージ欄に上記①～⑤を明記してください。

のいずれかで受け付けます。

★お借りした写真は、石川商店街「アイ・キャナルストリート」の設置指定店で随时展示する場合がございます。

注意事項／展示には、撮影場所や被写体に関する説明を加えることがあります。

お借りした写真は、本展示にかかる事務以外には使用しません。

また、お借りしたご本人の同意がある場合を除き、第三者に提供することはありません。

石川商店街協同組合

鶴屋呉服店かつてこの石川町には鶴屋呉服店があったのをご存じだろうか。鶴屋呉服店は現在の東京・松屋デパートの前身であり1869～1923年の関東大震災が起るまでの54年間、ここ石川町で営業していた。百貨店の前身として亀の橋に大建築を誇っていた。豪華な商品がぎっしりと並べられていたことも地域住民にとって、また驚異であった。現在の石川町駅から150mほど離れたところに位置していたため、交通の便が良く賑わいをみせていた。当時から駅周辺の地区が石川町の中心であったことがうかがえる。

大正の初期、関東大震災の影響で鶴屋呉服店、現在の松屋が焼失したことは、ここを軸としていた付近の地区に重大な転機をもたらしたといえる。店はその後修復することなく中区伊勢佐木町に進出した。現在、鶴屋呉服店は海外に5店舗を開拓する大手デパートとなっている。

中村川1940年代はじめの頃は、商売は主に舟運によって行われていたため、かつて問屋街であった石川商店街にとって、中村川はなくてはならない存在だった。

1978年に首都高速道路神奈川1号線が完成したことでも中村川の景観の変化が始まった。現在の中村川は護岸整備によって昔とは違った様子を呈している。この護岸整備は1980～1990年に行われた。なぜこの護岸整備が行われたのかというと、商店街だけでなく、その裏側も通れるようにすることで、商店街と新しく護岸整備でできた道の両方から商売をしていきたいという考え方から行われた。当初の予定としては車も通れるようにしたかったが、土木会社から地盤の弱さを指摘され、歩道にすることに決まった。このようにして現在の中村川がある。



協力:明治大学商学部中川秀一ゼミナール
発行:石川商店街 石川商店街写真展示事業

横浜市中区石川町1-22 TEL045-641-4516

*本印刷物を許可なく複写複製することはかたく禁じます。平成24年12月1日現在